

委員会の動き

わされました。

〔西地区「ミヤン」〕

西地区コミセンは9名の参加で、定数については「近隣町村も減らしている、一般質問者も少ないし内容も乏しい」との意見がありました。その他では、4条街区道路工事、東郷ダム問題、公営住宅家賃未納、耕作放棄地、議場のありかた、民生委員、要援護者見回り、議会視察、新規就農受け皿、企業誘致、防災などについて意見交換を行いました。

〔鳥沼会館〕

鳥沼会館では、12名の市民参加があり、議員定数については「議員から提案すべき、動きが見えないから定数減の話が出てくる、むやみに減らすべきではない」などの意見があり、その他ではコミュニティ活動補助金、農産物直売所・加工場、ワイン事業、民生委員の町内会区割り、冬期間の農業振興、鳥沼公園環境整備などについて、質疑・意見交換がありました。

〔東部児童センター〕

東部児童センターは、6名の参加で、定数については「行政

範囲が広いことを考えると規定数がよい」との意見がありました。

その他では、地域コミュニティ、経済建設委員会の農業振興についての視察地、災害時の伝達方法、災害メールの対応等について意見交換しました。

〔山部福祉センター〕

山部福祉センターでは、13名の市民参加をいただき、議員定数については「我々は判断できない、議会として運営に支障をきたすのであれば積極的に訴えるべき」との意見が出されました。その他では、地域コミュニティ、医師確保、ワイン条例、救急車の対応、コミュニティ推進員について質疑、意見交換いたしました。



山部福祉センターにて

予算特別委員会報告

平成26年度各会計予算・関連議案を原案どおり可決！

予算特別委員会は、3月4日全議員をもって設置され、一般会計・6特別会計・2企業会計及び関連する基金の処分や条例の一部改正など全13件の議案が付託され、審査は3日間の日程で行いました。

予算については、第5次総合計画に掲げた施策の着実な推進、事業の優先順位の明確化と更なる精査による予算配分の優先化など「身の丈にあった予算」を基本に、本年度は市長選挙を控えた骨格予算としており、一般会計、特別会計、企業会計の総額184億7940万円の平成26年度当初予算と、これに関連する付託議案について、詳細な質疑を重ね審査を行ったところです。審査にあたっては、国の地方財政対策等を踏まえ、各種事業の適正な執行の観点から質疑が行われました。一般会計では、地域づくり推進経費、地域防災事業費、家族介護慰労金、高齢者入湯料助成事業費、子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料、子ども発達支援事業専門支援確保事業委託料、公衆浴場確保対策事業費、自殺対策緊急強化推進事業費、健康増進事業費、学校管理経費、衛生用品資源化処理試験事業費、衛生用品処理負担金、雇用促進事業費、農村実態調査事業費、農村環境改善センター運営管理費、同センター改修事業費、通年・滞在型観光推進事業費、除雪対策事業費、体育施設管理費などについて、また、特別会計、企業会計においては、公設地方卸売市場事業特別会計・ワイン事業会計について質疑が行われました。

◆質疑後の採決の結果、付託全案件が全会一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定しました。
◆本報告は最終日、本会議で委員会報告がされ、可決されました。

委員長 今 利一
副委員長 萩原 弘之

事務調査

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の事務調査を行います。

委員会名	調査番号	調査件名
総務文教委員会	調査第1号	学校内における児童生徒への危機管理体制について
保健福祉委員会	調査第2号	高齢者の健康づくりと介護予防、認知症予防について
経済建設委員会	調査第3号	観光行政について